



ふく た けい いち
福田 慶一

しみん
市民クラブ

保育士不足の対策と関係団体の連携について

問 現在、保育の現場では待機児童とともに保育士不足が課題となっている。要因としては、労働条件や労働環境などに問題があり、離職する有資格者が多いことなどが挙げられている。

そこで、津市における保育士不足問題についてどのような対策を検討、実行されているのか。

また、問題解決には関係団体などと連携する必要があると思うが、どうされているのか。

答 保育士の平成31年度採用予定の応募状況は、募集人数10人程度に対して47人の応募があった。また、ここ5年間は退職者数よりも22人多く正規保育士を採用しており、現時点では、保育士確保への影響は生じていない。一方、民間保育所の保育士不足は、他職種と比べても平均給与が低いのが主な要因に挙げられ、人材確保には給与改善が必要であると考えている。先月、県知事との1対1対談の場でも、保育士全体の給与水準が底上げされる取組の充実等を国に働きかけてもらうように要望した。

また、問題解決に向け、県委託の「保育士確保・保育園支援関係機関連携会議」で県下私立保育所関係団体や三重労働局などの関係機関とともに、当会議で連携を十分に図っていく。

●その他の質疑・質問●

- 入札制度の改善について
- 総合評価の導入について
- 市内業者の受注機会の確保を
- 地方独法法の改正について
- 再生可能エネルギーの普及促進について
- 地元就職に対する奨学金は
- 小学生の英語教育の取り組みについて
- 異常気象と言われる豪雨災害の対応について



▲新学習指導要領対応の小学校外国語教材



たけした さちこ
竹下 幸智子

にほんきょうさんどうつしぎだん
日本共産党津市議団

学童保育所の計画的な施設整備を

問 少子化が進み、児童数が減少する中で、学童保育所への入所希望者は増加している。そのため、条例で規定する、「児童1人当たりの専用区画面積がおおむね1.65㎡」が確保されていないクラブが19カ所、「1クラブの児童の人数がおおむね40人」を超えるクラブが28カ所もある。

待機児童を出さないよう、新設、増設も含め基準に見合う早期の施設整備を求めるがどうか。

答 放課後児童クラブのニーズが急激に高まってきており、毎年施設整備を行っているが、ここ数年、それを上回るスピードで、利用児童数が増えてきている。そのため、現在、十分な保育スペースを確保できず、小学校の多目的室、体育館のミーティングルーム、近隣の公民館、幼稚園等を一時的に借用しながら運営をしている施設が6カ所あり、今年度は、狭あい化している3カ所の整備を行っている。

施設整備に当たっては、今後の利用状況をしっかりと把握しながら、小学校の余裕教室等の活用を基本としつつ、その活用ができない場合は、近隣の公共施設や民間施設の活用を検討し、それでも難しい場合は、新施設の整備を検討するなど、計画的な整備を進めていく。

●その他の質疑・質問●

- 放課後児童支援員の処遇改善
- 高齢者の外出支援にコミバスの旧市町村を越えた路線編成を
- 台風による中電への停電究明と津市として今後の対策、高齢者等へ早めの避難開始発令を
- 太陽光パネル設置事業者へ非農耕地用除草剤を使用しないよう指導を。また、市民が除草剤被害等トラブルの相談をできる体制づくりを など



▲広々としたスペースの学童保育所を